

令和5年度事業計画

一般財団法人長岡産業交流会館

令和元年度末から3年間続いたコロナ禍は、ようやく収束の方向が確実となってきている。この間に当館が受けた運営上の打撃は非常に大きいですが、収束後は従来の状態を着実に取り戻すべく努めてゆく。今年度は、社会経済活動の活発化に伴い、本格的なイベント再開が見込まれるため、これまで以上に積極的かつ柔軟に開催ニーズに応え、引き続き地域のコンベンションセンターとして産業の交流、振興の役割を担ってゆく。

1. 会館管理運営事業

- ・アフターコロナの需要増が見込まれるので、より多くのイベント開催を支援するため、会館の柔軟な貸出し及び適切な職員配置を行い、万全な対応を行う。
- ・催事開催にあたってのモチベーションアップとなるような施設運用をMICEサポーター活用等と合わせて行い、より規模の大きいイベントの開催促進を図る。
- ・ウィズコロナの再来を想定し、状況変化に機敏に対応できるよう、関係機器や設備等の調整管理、対策ノウハウの再確認を常時行う。
- ・使い勝手の良い施設であることを常に念頭に施設整備、機器・設備類の更新を計画的に行う。また会館スタッフの対応力向上に資する各種研修会への参加やOJTを推進する。
- ・全国的な催事開催動向を把握するため催事主催団体、展示場運営団体との交流、情報交換等を引き続き行う。また近隣の催事開催状況把握のため、県内コンベンション施設間の情報交流を再開する。

2. 誘致開催事業

- ・コロナ禍により開催見合わせや規模縮小を行ってきた主催者に向け、ダイレクトメール等により、この間安全安心への取り組みによって催事開催を継続してきた実績をアピールするとともに、イベントの再開や規模拡大等を促す。
- ・発展著しい市内工業団地等への新規進出企業に向け、ダイレクトメール等により、当館の業務案内とともに会議・イベント等での活用を促す。
- ・好評を得ているワンストップサービス及びMICEサポーター制度を引き続き推進しより手軽な開催の実現のほか、主催者に更に大きい規模のイベントへの転換を目指せるサービスとしていく。
- ・市内外のコンベンション関連団体や行政との連携により、業界団体・学術団体等の催事開催ニーズ把握を行い、当館の施設特性を踏まえた開催提案を柔軟かつ具体的に行う。

3. 産業技術情報提供事業

- ・長岡市産業展示室の保守運用を受託し、長岡市と協議を行いながらその目的に鑑み、良好な施設運営を行う。

4. その他事業

不動産賃貸事業において、引き続き産業展示室スペースについて貸付を行う。レストランスペースについては、アフターコロナ状況をふまえ、当館での催事や会合開催全般に資するテナントの入居を目指していく。当面は当館のイベント開催のための予備スペースとして、大規模催事に付随した利活用等、催事開催のモチベーションアップとなるような活用を考慮する。

5. 大規模改修の実施

年次計画に基づき、次のとおり実施する

(1) 実施する内容

| 項目 | 箇所 | 内容 | 概算額(千円・税込み) |
|----|--------------------|------|-------------|
| 設備 | 空調用冷温水発生機(3基中の3基目) | 機器更新 | 65,000 |

(2) 発注先について

当館の空調機器は全て施設に合わせて設計、製作されており、先に行った2基及び現機器との綿密な調整を要するとともに不測の事態に迅速に対処できる必要があること、工事にあたっては空調システム全体を休止する日の設定を要するため、空調使用を要しない気候条件下において短期間に完了させる必要があることを考慮した業者選定、契約を行い、貸館業務への影響を最小限としたい。

(3) 資金調達

金融機関からの借り入れ

(4) スケジュール

| 年 | 月 | 内容 |
|---|-------|-------------|
| 5 | 6 | 業者選定及び契約締結 |
| | ～ | 機器製作・資金調達協議 |
| | 9 下旬 | 工事準備 |
| | 10 下旬 | 据付工事・各種調整 |
| | 11 下旬 | 竣工・完成検査 |

以上